

主な事業の決算額

一般会計

画像は全てイメージです。



ふるさとあわらサポート基金事業
4億1,490万8千円



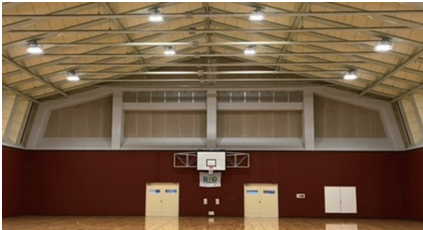
道路橋りょう災害復旧事業
7,465万9千円



西口広場活用促進事業
7,018万4千円



橋梁長寿命化修繕事業
6,054万5千円



B & G 海洋センター体育館改修事業
4,255万7千円



鳥獣害のない里づくり推進事業
3,060万3千円



名泉郷冠水対策事業
2,537万7千円



北陸新幹線開業機運醸成事業
2,093万8千円



出産・子育て応援事業
1,862万4千円

令和6年度上半期の 予算執行状況 をお知らせします

一般会計歳入歳出予算執行状況 (令和6年9月末現在)

グラフの数値は予算現額、() 内は執行率です。

175億4,448万3千円

予算現額

80億634万円

収入済額

175億4,448万3千円

予算現額

72億7,344万4千円

支出済額

市税

42億442万6千円 (57.2%)

地方交付税

33億8,000万円 (74.8%)

国庫支出金

26億2,956万3千円 (26.4%)

繰入金

20億6,018万5千円 (0.0%)

県支出金

16億419万2千円 (11.3%)

その他の交付金

9億9,800万円 (64.6%)

諸収入

9億9,712万5千円 (2.8%)

市債

8億8,321万5千円 (0.7%)

使用料および手数料

1億7,150万5千円 (50.3%)

分担金および負担金

1億4,162万8千円 (39.2%)

地方譲与税

1億3,300万円 (32.2%)

その他

3億4,164万4千円 (391.1%)

歳入

執行率 45.6%

歳出

執行率 41.5%

民生費

52億9,375万2千円 (44.5%)

総務費

25億6,878万4千円 (42.6%)

土木費

18億3,438万7千円 (41.4%)

教育費

17億8,569万5千円 (38.3%)

公債費

16億4,040万2千円 (47.1%)

衛生費

10億3,715万4千円 (38.6%)

農林水産業費

9億6,052万7千円 (30.9%)

商工費

8億6,882万4千円 (40.7%)

消防費

6億7,433万円 (43.2%)

議会費

1億4,905万6千円 (55.2%)

労働費

3,223万5千円 (52.3%)

その他

6億9,933万7千円 (24.1%)

(億円)

※ 予算現額には令和5年度からの繰り越し分を含んでいます。

歳出を 目的別 で見た決算額と 市民1人当たり の決算額

民生費
50億5,382万2千円
(19万1,136円)
認定こども園運営、
障害者・高齢者福祉など

土木費
18億2,285万6千円
(6万8,941円)
道路、橋、公園、市営
住宅の整備や維持管理など

総務費
18億1,946万円
(6万8,812円)
戸籍や住民票の管理、
防犯対策、財産管理など

公債費
15億7,141万6千円
(5万9,431円)
市債(借金)の返済

教育費
13億8,388万3千円
(5万2,339円)
学校、公民館、体育施設
の整備や維持管理など

衛生費
8億8,080万円
(3万3,312円)
ごみ処理、予防接種、
妊婦・乳児健診など

農林水産業費
8億2,640万円
(3万1,254円)
農林水産業の振興や農道、
排水施設の整備など

商工費
7億2,423万8千円
(2万7,391円)
企業誘致、商工業の振興、
観光推進など

消防費
5億9,014万3千円
(2万2,319円)
消防施設や災害対策など

議会費
1億4,815万7千円
(5,603円)
議会の運営

労働費
2,209万8千円
(836円)
雇用対策、市民への
生活資金融資など

その他
16億1,966万5千円
(6万1,255円)
基金(貯金)への積立金
や災害復旧費など

目的別で見ると、民生費が全体の
約3割を占めています。
これは認定こども園運営や児童
手当、医療・介護保険、生活保護な
ど福祉事業の比重が高いことによ
ります。

歳出決算額(目的別)
164億6,293万8千円
市民1人当たりの決算総額
62万2,629円



※ () 内は1人当たりの決算額。令和6年3月31日現在の
住民基本台帳人口(2万6,441人)で計算しています。

あわら市の 健全化判断比率 と 資金不足比率

健全化判断比率

区分	R5	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	(赤字なし)	13.55%	20.00%
連結実質赤字比率	(赤字なし)	18.55%	30.00%
実質公債費比率	7.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	23.6%	350.0%	(基準なし)

※ 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、
表中の基準はあわら市に適用される基準です。

資金不足比率

全ての公営企業会計(水道事業会計・公共下水道事業会計)
において、資金不足は発生していません。

あわら市は
基準をクリア
しています



令和5年度決算に基づく
各指標は次のとおりで、い
ずれの比率も基準以下と
なっています。